

「暑さ寒さも彼岸まで」とは言いますが、今年は残暑もあまり感じないまま、9月半ばを迎えました。2学期が始まって3週間余りが経ちました。授業も軌道に乗り、子供たちも生き生きと学習に取り組んでいることと思います。

夏季休業中の研修から

夏季休業中の本市教育委員会主催の研修についてご紹介します。言うまでもないことですが、研修内容を学校全体で共有していただき、みんなで指導力向上、授業改善を図っていただきますようお願いいたします。

小学校英語指導力向上研修会 8月4日（金）

本市教育委員会の坂口・中村より、以下のことについて各小学校の先生方にお伝えしました。

- (1) 現行の小学校外国語活動の指導内容と方法のポイントについて
- (2) 基本的な授業の流れ及び教材・教具の活用について
- (3) ALTとのT-T（ティーム・ティーチング）授業の進め方について
- (4) 現行外国語活動と小学校外国語科（仮称）の相違（指導内容・評価・定着内容 等）について
- (5) 小学校外国語活動及び外国語科の中学校英語科への接続について
- (6) クラスルームイングリッシュ（授業で使う英会話）の重要性について
- (7) 文部科学省発行の「小学校外国語活動・外国語 研修ハンドブック」の内容について

参加の先生方は、ゲームなどを通し、子供になったつもりで、授業の改善点を見付けていました。さらに、学習指導要領解説や「平成29年度学校教育指導の重点」（福島県教育委員会）等を参考に、外国語活動の目標や内容、指導の重点、授業改善のポイント等を確認し、「コミュニケーション能力の素地を養う」授業にするにはどうしていったらよいか、子供たちの笑顔や楽しんでいる姿を思い浮かべながらみんなで意見を出し合っていてください。



こども園・保育園・小学校連携研修会 8月21日（月）

喜多方市の12のこども園と2つの保育所、そして全17小学校の低学年担任の先生方が一堂に会して「幼児教育と小学校教育の連携研修会」を開催しました。こども園に移行してからの開催は今回が初めてでしたので、多くの保育教諭が参加しました。

- (1) 講義「特別支援にかかる園児・児童の実態と支援について」

会津教育事務所の二瓶睦指導主事より

※ 参加した先生方からは、「エピソードに具体性があり、納得できました。」「分かり易いお話でスーっと入りました。」「インクルーシブ教育について、今までよりも深く考えることができる時間でした。」など、大好評でした。



(2) 協議「こども園・保育所及び小学校低学年における指導の実際」本市学校教育課中村指導主事が担当。

※ 連携を密にするためには、まず先生方が仲良くなることが大切です。そこで、学区別の幼小合同グループに別れて、楽しいゲームを取り入れながら親しくなってきました。これで、初対面の先生方もチームワークばっちり。活発な協議の準備運動ができました。

※ 次に、「インシデントプロセス法」を取り入れた事例検討会を行いました。インシデントプロセス法とは、実際に起こった出来事を基に、参加者が時程提供者に質問しながら問題解決の方策を考



えていく手法です。事例提供者も参加者も、困り感や悩みを共有するとともに有効な支援方法を導き出すことを実感することができました。

※ 各班の発表を通して、さらに支援の視野が広がりました。

事例提供の先生からは「早速明日から試してみたい。」という声も聞かれ、本研修会の成果を感じることができました。

最後に、会津教育事務所の新井田克生指導主事から指導・助言をいただきました。今回のキーワードは、「多様性を認め合える関係づくりを幼少期から」そして、「その鍵は大人の姿勢」であることを共有することができました。

また、「このような連携研修会は、他市町村ではあまり例がなく、とても素晴らしい取組である」と評価をいただきました。今回の研修をきっかけに、各地区での連携の機会をさらに充実させ、子どもたちと保護者の皆様が安心して入学の日を迎えることができるように、一層支援していきます。

算数・数学指導力向上事業① 前秋田県教育専門監による研修会・協議会 8月22日(火)

前秋田県教育専門監の倉田一広先生（秋田県東成瀬中学校教諭）を講師にお招きして1日研修を実施しました。倉田先生による模擬授業（午前中に算数、午後に数学）では、参加の先生方は子供の立場に立って授業に参加することで、先生の質問に意外と声を出して答えなかったり、友達にも分かりやすく説明することはなかなか簡単ではないことなど、普段、指導する側にいると見付けにくい改善点にも気付くことができたようです。



模擬授業の後、授業の意図の説明がありました。子供たちが「分かる」「できる」ための支援が豊富でした。その一部を紹介します。



○一つの考え方ができたら、ほかの考え方もないかな？

○困っている友達にリトル・ティーチャー！

○計算の過程を吹き出しにして説明

○新しい言葉は空中に文字で書くなどで覚えさせる

○今日のまとめに「1問テスト」。できたらもう1問、2問（用意しておく）

○今学習していることは板書（既習事項に限り事前準備もあり）

○5つのK（ka 活躍する、ki 共感する、ku 比べる、ke 決定する、ko 声を出す）

○「そろえる」ことの大切さ（スタート、途中、ルール）…いただいた資料にもある「あの手この手を尽くす！」ことの大切さを実感した研修となりました。校長先生自ら参加された学校もありました。

全国学力・学習状況調査結果の分析と学力向上に向けた対策の見直しをお願いします

成果の見られた取組は？領域別で落ち込みが見られるところは？児童生徒質問紙の結果から見えてきたことは？改善のための対策は？膨大なデータを有効活用していきましょう。

＜参考＞ 質問紙調査より…全国平均を5ポイント以上上回り、児童生徒と先生方の回答が一致している取組があります。子供たちは先生方の授業や指導をよく見、努力やよさも認めています。励みになりますね。

【児童】(61) 5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか

※「当てはまる」のみで、+7.9(本市66.5 全国58.6)

(62) 5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか +6.1

+6.1(本市82.3 全国76.2) ※「当てはまる」のみでは+6.4(本市46.7 全国40.3)

(63) 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思い

ますか +7.4(本市96.1 全国88.7) ※「当てはまる」のみでは、+10.8(本市79.7 全国68.9)

【小学校教員】(33) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れ了吗か+14.0(本市88.2 全国74.2)

(34) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れ了吗か +12.2 (本市64.7 全国52.5)

(38) 調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか +13.4 (本市82.4 全国69.0)

【生徒】(63) 1, 2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか

+8.2 ※「当てはまる」+20.4(本市73.5 全国53.1)

(65) 1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめ

を書いていたと思いますか +7.8 ※「当てはまる」+13.0(本市60.6 全国47.6)

【中学校教員】(33) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れ了吗か+20.3(本市85.7 全国65.4)

(38) 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか+13.1(本市57.1 全国44.0)

【生徒】(61) 1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか

+5.6(本市79.1 全国73.5)

【中学校教員】(15) 調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか +16.8(本市28.6 全国11.8)

9月～10月の学力向上関係事業の予定

9月20日(水) 第三中学校指導訪問

9月29日(金) 駒形小学校指導訪問

10月4日(水) 第2回市学力向上推進協議会

10月13日(金) 算数・数学指導力向上事業②(国立教育政策研究所 学力調査官による研修会)

10月31日(火) 豊川小学校指導訪問

